『ビーおばさんとおでかけ』

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ/作　徳間書店

ビーおばさんは、自分のやりたいことは絶対にあきらめない、ちょっとこまった人。ある日、海に連れていかれた三人きょうだいは、おばさんが 立入禁止の島に無理やり入りこんだ巻きぞえで、とんでもない目にあうことに！

★『アーヤと魔女』『四人のおばあちゃん』

『ぼろイスのボス』もおすすめです。

『われから　かいそうのもりにすむ　ちいさないきもの』

青木優和/作　畑中富美子/絵　仮説社

かいそうのなかにいる ちいさくてほそながい いきもの。なまえは「われから」。うまれたあかちゃんは おかあさんにくっついてすごします。さかなにねらわれたときは じょうずにへんしん！かいそうそっくりになります。

３・４年生へ

さあ、夏休みがはじまるよ！
図書館からのおすすめ本、ぜひよんでね。

『おとうさんのかお』

岩瀬成子/作　佼成出版社

利里のおとうさんは、仕事のために家族とはなれてくらしている。春休みに、おとうさんのマンションへ泊まりにきたけれど、ちょっと口うるさくてめんどくさい。そんなとき、となりの部屋の雪ちゃんと友達になった。

『おすしやさんにいらっしゃい！生きものが食べものになるまで』

おかだだいすけ/作　岩崎書店

おすしやさんの魚たち。みんな、海で生きているところをつりあげられたんだ。さばいて、にぎって、へい、おまち！おいしいおすしのできあがり。わたしたちは、たくさんのいのちをいただいて、生きています。

『こわいオオカミのはなしをしよう』

ウィリアム・マクリーリー/作　岩波書店

マイケルはパパがつくったおはなしを聞くのが大好きです。でもマイケルのお願いでおはなしはどんどん変わっていきます。にじいろのにわとりレインボーとオオカミのウォルドーのおはなしは、どうなってしまうのかな？

３・４年生

『トゥートゥルとふしぎな友だち　真夜中の妖精』

湯湯/作　あかね書房

池のほとりの木から、広場に立つ芝居を見ていたトゥートゥル。ふと気づくと、池の水面に緑色の服を着たぬれた髪の女の子がいます。仲良くなったふたりは、夜になると一緒にでかけるようになり……。ちょっぴりこわくてふしぎなお話。

★「トゥートゥル」のシリーズは３冊あります。

『山のうらがわの冒険』

みおちづる/作　あかね書房

山奥のおばあちゃんの家で夏休みを過ごすことになった大樹が、大岩の横で出会ったのは変なかっこうの男の子。人間の住む「おもて側」と神さまの住む「うら側」の世界があるという、この山の言い伝えと、何か関係があるんだろうか？

『まいごのねこ　ほんとうにあった、難民のかぞくのおはなし』

ダグ・カンツ、エイミー・シュローズ/作　岩崎書店

ある夜、お母さんと５人の子どもたちは、戦争からにげるため、ひっそりとイラクを出ました。大事な家族、ねこのクンクーシュもいっしょです。でも、海をこえてギリシアに着いたとき、クンクーシュはみんなとはぐれてしまい……。

『さくら村は大さわぎ』

朽木祥/作　小学館

春のさくら村は、たくさんの桜の花が満開です。村ではいろんな事件がおきます。新学期、ハナのお兄ちゃんが自転車で下校しようとすると、びっくりすることがありました。ヘルメットの中に作りかけの鳥の巣があったのです！

『ふくはなにからできてるの　―せんいのはなし―』

佐藤哲也/作　福音館書店

わたしたちが毎日着ている服は、さまざまな せんいからできています。じょうぶなコットン、あたたかいウール、なめらかなシルク……。どのせんいが、どんな服に使われているのでしょう。答えは「タグ」に書いてあります。

『ウサギとぼくのこまった毎日』

ジュディス・カー/作　徳間書店

トミーは学校にいるウサギのユッキーがだいきらい。ところがトミーの家で、ユッキーをあずかることになっちゃった。ユッキーのせいでお客さんを怒らせたり、犬においかけられたり、もうたいへん！